

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年12月4日

【評価実施概要】

事業所番号	0572510659
法人名	医療法人 青嵐会
事業所名	グループホームたんぼぼ西目
所在地	秋田県由利本荘市西目町沼田字新道下2-6 (電話)0184-32-1616
評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団
所在地	秋田市御所野下堤5丁目1番地の1
訪問調査日	平成20年11月26日

【情報提供票より】(20年11月11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年12月7日
ユニット数	1ユニット 利用定員数計 9人
職員数	8人 常勤7人, 非常勤1人, 常勤換算7.75人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000円	その他の経費(月額)	管理費 5,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300円	昼食	300円
	夕食	300円	おやつ	円
	または1日当たり		900円	

(4) 利用者の概要(11月11日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名	
要介護1	3名	要介護2		3名		
要介護3	3名	要介護4		0名		
要介護5	0名	要支援2		0名		
年齢	平均	84歳	最低	80歳	最高	92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	本荘第一病院	あいば歯科クリニック
---------	--------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは住宅街の中に位置している。玄関から入ってすぐの居間は、天井が高く開放的で広々としている。また居間に続く木製の大きなサンデッキは行事の際も活用でき、居間に設えた和室と共にこのホームの特徴となっている。現在の利用者が全員女性ということもあってか、食事の準備や片付け、掃除、針仕事などの家事に関わる役割を皆で担っている。ホーム全体がとても清潔な印象を受けた。また老人保健施設である併設施設の機能を活用して、普段から看護師が健康管理を行っているほか、栄養士が献立を立てており、利用者、家族とも安心が持てる暮らしとなっている。職員は、月に一度勉強会を開いて制度やケアの実際について学びあい、常により良い支援を目指している。地域との交流も活発なホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、食事を楽しむ工夫と事故報告書の活用について改善が期待されていたが、今回の訪問調査において、食事の状況はとても和やかであり、静かな中にもゆったりとした落ち着きを感じる事が出来た。また、事故報告書も職員によく周知され、再発防止策を検討し実行するなど、改善されていた。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者は自己評価の意義をよく理解している。評価をしていく過程でホームの課題を職員が共有できるよう、今回も全員で自己評価に取り組みしており、まとめた報告書は更に職員に周知している。自己評価、外部評価の結果は冊子に綴じられ、いつでも気軽に閲覧でき、またお便り等でも家族に知らせている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議のメンバーとして行政担当者、地域代表、町内会、家族等が参加しており、ホームの理解と地域との結びつきに貢献している。外部評価の意義やその結果について報告したり、家族からホームへの積極的な提案があったりと、活発な会議が行われている。会議の結果は広報で家族に報告している。また、管理者は地域包括センター主催の地域ケア会議にも毎月出席しており、情報交換等に努めている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族には毎月健康状態や生活の状況と、預り金の残高等を報告している。また、2ヶ月に1回「たんぼぼ西目だより」を発行し、行事や普段の写真を載せていきいきとした暮らしぶりを伝え、家族が話しやすい環境作りを行っている。また、苦情・要望等への対応については、重要事項説明書に担当者等が明記され、居間には苦情投函箱を設置するなどの対応が行われていた。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 毎月1回、ボランティアがお話や朗読、マジックなどを披露しており、利用者の大きな楽しみとなっている。また民生委員が訪ねてきたり、近隣の人が市政だよりを持ってきたり、家族が気軽に訪れたり、地域との交流が活発である。火災等の非常時にも、併設施設や町内会の協力が得られる体制を作っており、利用者や家族の安心に繋がっている。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしく生きること」を支援する現在の理念は、開設当初の理念を2年前に変更したものである。変更に当たっては、管理者が研修で学んできたブレインストーミング法を用いて勉強会を開き、活発な意見交換を行った。その繰り返しにより、現在の独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、玄関、居間、職員室にわかりやすく掲示され、利用者も来訪者も職員も常に目にすることが出来る。管理者及び職員は、カンファレンス時等、機会あるごとに理念について話し合いを行っており、理念を実践に結び付けていく努力をしている。		
2.地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎月1回、ボランティアがお話や朗読、マジックなどを披露しており、利用者の大きな楽しみとなっている。また民生委員が訪ねてきたり、近隣の人が市政だよりを持ってきてくれたりと地域との交流が活発である。今後も地域の行事等へ積極的に参加するなどして、より一層の交流を図ることが期待される。		
3.理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価には管理者はじめ職員全員で取り組み、ホームの課題等の共有に努めている。また管理者は外部評価を受けることの意義をよく理解しており、結果は運営推進会議で報告したり、ご家族に送付している。これまでの外部評価での指摘事項については、改善計画を立て真摯に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>行政、地域、ご家族等からの参加を得て、2,3ヶ月に一度運営推進会議を開催している。行政はもちろん地域の方も多くこの会議に参加していたり、ご家族からの意見もたくさん出ていたり、会議がよく機能していることが確認できた。運営推進会議の結果は広報で家族に報告している。</p>		<p>運営推進会議の開催、結果の周知とよく取組まれている。今後は、無理のない範囲で徐々に利用者の参加を検討していくことも期待される。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は、月に一度行政、社協、介護保険の事業所等が集う地域包括支援センター主催の地域ケア会議に出席して、情報交換等に努めている。また近隣のグループホームの管理者とも連絡を取り合い、連携を図っている。</p>		
<p>4.理念を实践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月ご家族に健康状態や生活の状況を手紙で知らせている。金銭の預かりについては、規程に沿って管理し、ご家族へ報告している。また2ヶ月に1回、「たんぽぽ西目だより」を発行している。行事の写真等を多用し、いきいきとした暮らしぶりが伝わるものとなっている。</p>		<p>毎月の状況報告、2ヶ月に1度のお便りなど、ご家族への報告はとてよく行われている。個人情報についても、重要事項説明書に「個人情報保護方針」「個人情報の取り扱いについて」が明記され、よく整備されているが、今後はお便りへの掲載についてもご本人、ご家族の同意を取っていくことが望まれる。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段からご家族には、面会のついでや電話の折に声掛けをしたり、ホームの居間に苦情投函箱を設置したりと、苦情や要望等をくみ取る努力をしている。今年度は一件苦情が寄せられたが、規程に沿って適切に処理されていた。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開設以来たびたび職員の入れ替わりがあったが、ここ1年は同じスタッフで落ち着いている。利用される方にとって馴染みの関係はとて大切なものであり、今後も引き続き人事異動等の際には配慮が望まれる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の研修や外部の研修に多くの職員が参加しており、研修結果は職員間で共有している。また月に一度勉強会を開いており、職員が互いに講師になって、制度やケアの実際について学びあうことで、より良い支援を目指している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ホームは、県のグループホーム連絡協議会、地区グループホーム連絡協議会に所属しており、相互のネットワークづくりに努め、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用の希望があった場合は、ご本人、ご家族に必ず見学をしてもらっている。また事前面接を行い、ご本人の状況を十分に職員が把握してから、利用を開始するようにしている。</p>		
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>生活暦等の把握を充分に行い、出来ることや得意なことを積極的に行ってもらっている。職員にも「日々の生活の中で学ばせていただいている」という意識が根付いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の生活の場面ごとに、利用者の希望を取り入れるよう配慮している。具体的には、希望する入浴の回数や時間、買い物を選択、行事で行きたい場所等をその都度聞いている。また、献立は併設施設の栄養士が立てているが、週1日は利用者の方々の希望するメニューにしており、利用者の楽しみに繋がっている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用開始にあたっては、まず暫定ケアプランを作成し、アセスメント、モニタリングを経てご本人、ご家族の意向を反映した介護サービス計画を立案している。介護サービス計画の実施に当たっては、利用者、家族の同意を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>新規の介護サービス計画は3ヶ月で見直ししているほか、継続している計画は6ヶ月で見直しを行っている。また入院等の予期せぬ出来事が起きた場合はすぐに計画の変更を行い、退院後もしリハビリを中心とした計画に変えるなど、状況の変化に応じた対応を行っていた。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>老人保健施設である併設施設の持っている機能を活用し、看護師に普段の健康管理や緊急時の対応などを依頼しており、利用者や職員の安心に繋がっている。また献立は併設施設の栄養士が立てている。</p>		<p>栄養士との連携は取れているが、今後はホームで直接献立等の指導を受けるといった取り組みを検討することも期待される。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用前に通院していたかかりつけ医に、入居後もそのまま受診できるよう努めている。また協力医療機関で年に1回定期健康診断を行っており、健康管理には充分留意している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在ターミナルケアは行っていないが、利用者の状態の変化に応じて、その都度ご家族に説明や報告をしている。ホームの出来ることとできないことを明確に示しながら今後の対応について話し合い、利用者、家族が納得のいく方法を検討し、職員も共有している。開所時からの退居者は12名いるが、いずれもスムーズに移行できている。		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	訪問調査の際、職員は親しみの中にも礼儀正しく節度ある接し方をしており、利用者のゆったりとした様子からも普段の状況をうかがうことができた。また個人情報保護方針や身体拘束マニュアルが整備されているなど、プライバシーの尊重、権利擁護への取組みがなされていた。		日々の暮らしの中で、職員によっては利用されている方々に対し、指示的な言葉になってしまう場面もあることから、研修を活用したり、互いに確認しあうなど、今後もより良い支援の実現に向けた取組みが期待される。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおむねご本人の希望を第一に優先する姿勢で支援に取り組んでいる。散歩に付き添ったり、併設施設のディサービスに来ている知り合いに会うための支援等、日常的なさりげない取組みによって、利用者の満足が得られることを目指している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>訪問調査時の献立(魚料理)は職員の味付けがとても良かった。刻み食などの対応は利用者個別に行っている。職員は食事を急かすこともなく、利用者の状況に応じた声掛けをしながら、静かな環境の中でゆっくりと食事を楽しんでいた。また食事の準備や片付けなどについては、利用者の方々が率先して職員と共に進んでいた。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者の希望に沿い、ほぼ毎日の入浴を実現している。毎日のバイタルチェックからその日の入浴の可否を判断し、声掛けから介助まで、利用者の状況に応じた支援をしている。また皮膚疾患等ある方の入浴は最後にするなど、感染症予防対策もきちんとして行われていた。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者の得意なことを活かして、また利用者が全員女性ということもあって、食事の支度、後片付け、洗濯物干し、洗濯物たたみ、雑巾縫い、布巾縫い、そして畑作り等々、全員が何らかの役割を持っている。利用者によっては座位で可能な家事をお願いするなど、利用者の状況に応じた配慮もなされていた。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>ホームは住宅街の中に位置しており、すぐ近くに美容院があることから、利用者が何名か連れ立って出かけている。また畑仕事や散歩、ドライブなど、日常的に気軽な外出の支援を行っている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている</p>	<p>施設は夜間のみで日中は鍵をかけていない。利用されている方も訪問者も気軽にホームに出入りしている。訪問調査時も利用者の家族が面会に訪れており、普段の開放的な取組みをうかがうことができた。今後とも継続して取り組んでいくことが期待される。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署立会いの避難訓練を年2回実施し、その他に自主訓練を1回行っている。また併設施設や町内会の協力を得られる体制も作っている。今後は警察署とも連携を図っていく予定であり、より一層の災害対策の充実が望まれる。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は併設施設の栄養士が立てており、栄養面、カロリー面のバランスが取れている。また、食事の摂取量もきちんと把握し、記録している。水分摂取については、利用者が一日に必要な水分量をペットボトル等で計量した上、小分けに提供するという工夫をしている。</p>		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関から入ってすぐの居間は、天井が高く開放的で広々としている。また居間に続く木製のサンデッキは、様々な行事に活用したり大きな布団を干したりと、生活空間の拡がりを支えている。居間に設けられた畳敷きのスペースは、バリアフリー構造となっており、家庭的な雰囲気を醸しだしている。換気や空調管理がきめ細かく行われており、不快な臭い等は全くなく、ホーム全体がとても清潔であった。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペースを囲むように居室が配置されているが、直接中の様子が外から見えないよう、プライバシーに配慮した設計となっている。居室の中には、利用者が家庭で使っていたものを持ち込んでいる。ベッドも利用者の状況に合うものをレンタルするなど、画一的でない対応をしている。また、女性利用者の居室には小物が飾られているなど、生活を楽しんでいる様子うかがうことができた。</p>		

は、重点項目。